

## 官公庁 4.0 研究会 2024.11.23 開催のご案内

このことについて、次のとおり開催いたします。

皆様、ふるってご参加ください。

### 1 開催概要

日時： 2024/11/23（土） 14:00～16:00（予定）

場所： オンライン（Zoom または WebEX）

※ 前日までに ZoomURL をお知らせします

※ 都合により、WebEX に変更することがございます

テーマ：未来をつくるデジタル共創社会～日本と海外の先進事例から学ぶ  
住民参加型行政のあり方～

講演者：（株）国際社会経済研究所 研究主幹 小松正人様

参加費：情報システム学会の会員、非会員ともに無料

### 2 官公庁 4.0 研究会とは

情報システム学会の中に設置された研究会です。

人間中心を大前提とし、人間のために IT を活かし切るという考えに基づき、情報システム学の視点でこれからの官公庁のあり方を全面的にデザインしなおすことを構想しています。現時点でデザインしなおすことを想定しているものは、次の通りです。なお、次の内容に限定しないで広く官公庁の情報システムについて採り上げていく予定です。

- （1）国民・住民に提供するサービスレベルの向上
- （2）国と自治体の協業を生む役割分担
- （3）国民・住民が参加しやすい政治・自治の仕組み
- （4）国民・住民の参加意識の向上
- （5）高品質なシステムを調達できる制度、方式

### 3 今回の開催内容

書籍『未来をつくるデジタル共創社会』について、著者である国際社会経済研究所 研究主幹 小松正人様より、その概要とポイントをご説明いただきます。

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/24/06/14/01436/>

[https://note.com/nec\\_iise/n/nce8b19b4ef30](https://note.com/nec_iise/n/nce8b19b4ef30)

#### 本書の概要

「デジタル敗戦」と評された日本の行政サービス。世界トップクラスの親切なアナログ行政をデジタルでどう進化させるか？

行政窓口で職員が親切丁寧な対面サポートを行う日本は、「世界トップクラスの親切なアナログ行政」と言えます。この日本流の「おもてなし」をデジタルも活用して進化させるにはどうすればよいでしょうか。

筆者が考えるポイントは、住民と行政の「関心・信頼関係の構築」と「マインドセット変革」です。一見すると、デジタルとは関係が薄そうなこの二つは、行政のデジタル化にどのように関係するのでしょうか。海外や国内の先進的な事例を紹介しながら、未来をつくるデジタル共創社会を考察していきます。

#### 本書の目次

##### 第1章 日本の行政DXの現在地

1-1 デジタル・ガバメントが実現するちょっと先の未来

1-2 デジタル・ガバメントを実現する環境整備の状況

1-3 世界トップクラスの親切なアナログ行政

##### 第2章 デジタル・ガバメント先進国の取り組みと日本に足りないもの

2-1 デジタル・ガバメントの先進技術動向

2-2 デジタル・ガバメント先進国のデンマーク

2-3 日本のデジタル・ガバメントに足りないものは何か

##### 第3章 住民と行政の関心・信頼関係の構築

3-1 海外先進事例における住民参加の取り組み

##### 第4章 行政職員のマインドセット変革に向けて

4-1 マインドセット変革への挑戦 - NEC 「Project RISE」

- 4-2 東京都が取り組むマインドセット変革
- 4-3 四條畷市、掛川市 が取り組むマインドセット変革
- 4-4 行政職員におけるマインドセット変革の「七つのポイント」
- 4-5 職員のマインドセット変革から住民対話へ

#### 第5章 デジタル共創社会に向けて

- 5-1 内閣府による社会意識に関する世論調査
- 5-2 日本におけるオープンガバメントのあり方
- 5-3 生駒市における地域共創の取り組み
- 5-4 加古川市における地域共創の取り組み
- 5-5 地域共創プラットフォームを運営する企業の事例
- 5-6 地域共創プラットフォーム比較
- 5-7 まとめ：未来をつくる「デジタル共創社会」に向けて

#### 4 当日のタイムテーブル（予定）

14:00～15:00 講演（小松正人様）

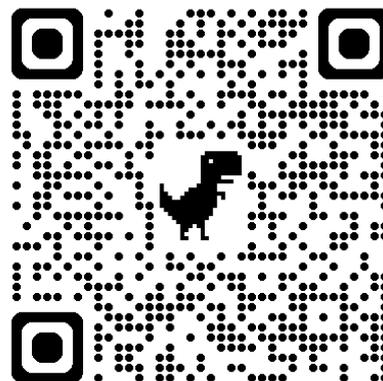
15:00～15:05 休憩

15:05～16:00 質疑応答

#### 【参加フォーム】

下の URL か右の QR コードをご利用ください。

<https://forms.gle/tJUcfSsKsPHnXJak6>



11/21（木）までにお申し込みください。

※ 参加人数には余裕をもっておりますが、万が一、予定参加者数になりましたら、参加をお断りすることがございます。

※ 申込後、キャンセルするときは、問い合わせ先メールアドレスにご一報くださるとありがたいです。

【問い合わせ先】

gisr.iwasakikazutaka [at] gmail.com

([at] を@に置き換えてください。)